

日本獣医生命科学大学

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンター

人と動物と環境が健康で幸福に暮らすことのできる共生社会の実現

1 2025
1
新設置

ワンヘルス・ワンウェルフェアセンターは、
「人と動物が健康で幸福に暮らすことのできる社会の実現」に向け、
学内外で連携して推進することを目的に、2025年1月に設置されました。

また、同センターは、「伴侶動物部門」「産業動物部門」「野生動物部門」の
3つの部門で運営をしています。

本学がこの分野の教育と研究をリードし、社会に貢献することを目指します。

ワンヘルス (One Health) ってなに？

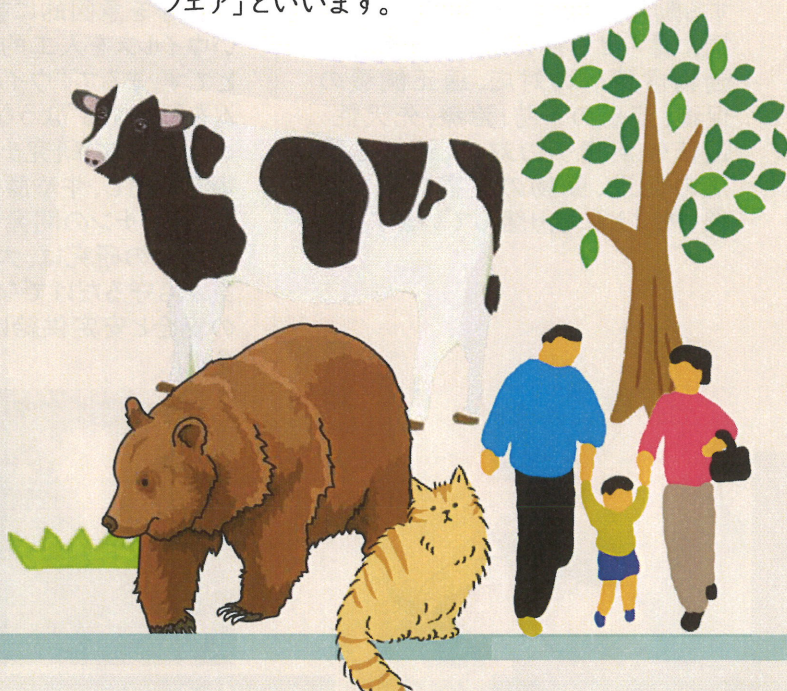
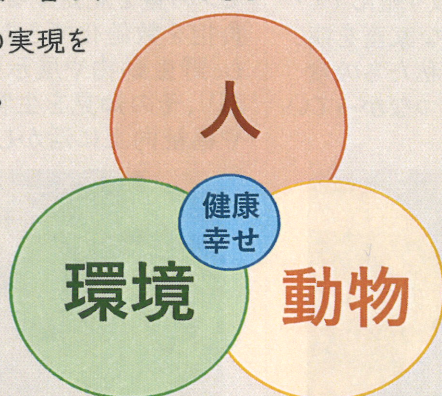
「人の健康」「動物の健康」「環境の健康」
は、深くつながっています。たとえば、動物か
ら人にうつる病気が広がったり、環境破壊に
より野生動物の暮らしが乱れたりすると、そ
れが人の暮らしにも悪影響を与えることが
あります。健康を考えるときは「人・動物・環
境」を一緒に守っていくことが大切で、この
考え方を「ワンヘルス」といいます。

ワンウェルフェア (One Welfare) ってなに？

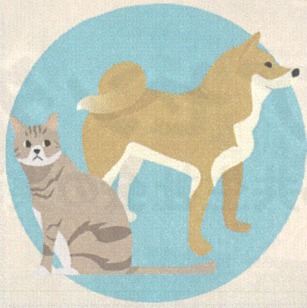
「人の幸せ」「動物の幸せ」「環境の心地よ
さ」も互いに深くつながっています。たとえば、
ペットや家畜が快適に過ごせる環境があれば、
その飼い主も心が安らぎますし、自然が豊か
な場所では、動物も人ものびのびと暮らせま
す。このように、「人・動物・環境」が一緒に幸
せになれる社会を作る考え方を「ワンウェル
フェア」といいます。

「動物」「人」「環境」の

3つの言葉をキーワードに
健康で幸福に暮らすことのできる
共生社会の実現を
目指します。



伴侶動物部門



動物が身近にいて、ともに健康で幸福に暮らせる社会の実現

動物福祉

ペット業界の健全化
動物虐待への対応
動物の災害対策
適正飼養の促進

繁殖指導

適正な繁殖の促進
繁殖技術の向上
優良ブリーダーへの支援

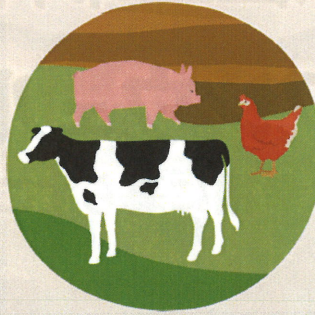
疾病予防

疾患の予防・治療
先天性・遺伝性疾患の対応
人医療への貢献

飼い主支援

飼い方・しつけ指導
高齢者への支援
ペットロスケア
介在療法

産業動物部門



心身ともに健全な動物からの良質な生産とその最大利用

動物福祉

動物福祉を実現した牧場
飼育環境の改善
科学的裏付け
人材育成

動物生産

繁殖技術の向上
効率的な飼養管理技術

疾病予防

遺伝要因と環境の制御
感染症の予防と治療
人獣共通感染症対策

製品開発 質保証

安心安全な食品
おいしさの追求
代替品の開発

野生動物部門



動物と人が安心して暮らせる環境作り

動物福祉

野生動物の福祉
展示動物の福祉

保全

希少種の保護
生物多様性の保全
環境治療

疾病予防

人獣共通感染症対策
家畜由来感染症の予防

社会支援

鳥獣被害対策
快適な飼育環境作り

各部門の取り組み

動物と人がともに 幸せに暮らすために

伴侶動物（人とともに生活を共にする動物）とヒトがともに健康で幸福に暮らせる社会の実現を目指し、動物虐待への対応、適正飼養の促進、疾患の予防・治療、先天性・遺伝性疾患への対応、適切な繁殖の促進、動物の災害対策など様々なことに取り組んでいます。



ニチジュウ×ウイルス逆遺伝学 —最新技術で牛や豚を病気から守る!—

ウイルス逆遺伝学とは、ウイルスの遺伝子を意図的に書き換えて、新しいウイルスを人工的に作る技術のことです。まるで“ウイルスのプログラムを編集する”ようなイメージです。ニチジュウの研究チームは、この技術を活用し、牛や豚の病気を防ぐ新しいワクチンの開発に取り組んでいます。この研究は、大切な家畜を病気から守るだけでなく、私たちの食の安全と安定供給にもつながっています。



動物も人も安心して暮らせる環境とは？ —ストレスから見た動物を取り巻く環境の評価—

近年、動物や人の健康状態を「目で見るだけ」では評価できない場合があることがわかってきました。そこで注目されるのが生理指標で、中でも「ストレス」は環境が生活に与える影響を知る手がかりとして広く用いられています。血液や糞、体毛からストレスホルモン量を測定することで、見えない負担を数値化できます。ニチジュウでも、野生動物や展示動物のストレスを測り、その知見を生物多様性の保全や福祉向上に活かしています。

